2025 年 1 月 10 日

ご支援くださる皆さまへ

～ご支援ありがとうございます～

日頃からご支援くださり本当にありがとうございます。

昨年８月末からの１ヶ月間、国際研修を行いました。期間中、研修生の生活をサポートしたり、交流会の運営ボランティアとして関わったり、多くの方たちがアジア各国からの研修生を支え、交流を持ってくださいました。下記おふたりの話をご紹介します。

どうぞ新たな一年もご協力をお願い申し上げます。皆さまのご健康をお祈りします。

アジア保健研修所（AHI）事務局長　清水香子・職員一同

公務員をめざしている大学2年のＭさん

「アバヤッドさんから将来へのアドバイスをもらいました！」

９月 28 日の研修生との交流会では、アバヤッドさんのグループで進行役をしました。バングラデシュのアバヤッドさんは、ミャンマーから避難してきたロヒンギャ難民のキャンプで保健ボランティアの育成を行っています。たくさん質問が出たグループトークの時間も終わりに近づいた頃、アバヤッドさんから「君たちは将来何になりたいの？ときかれました。

「公務員をめざしている」と答えたら、「公務員として地域に根ざした活動をするためには、浅く広くではなく、ひとつの目標達成のために集中して取り組むことが必要だ」と言われました。また何かを変えようとするとき、必ずしもお金による対応や支援が必要な訳ではないという話も聞きました。

学生を連れて国際研修を見学する大学教員のＨさん

「同じ課題に取り組む仲間です」

国際研修の期間中、計１週間くらい学生とともに見学させていただきました。学生には、「モノを送る」「お金を送る」以外の国際協力の形を知らせたいと考えています。また、背景や立場の異なる人たちが共通の課題をめぐって議論する場というものを経験させたいという思いもあります。

インドのスワプニルさんから、AHI の研修に触れた学生のその後を聞かれました。研修生の多くが、次世代の活動の担い手を育てるためにどのように若い人たちに働きかけるかに関心が高いと思います。

私の場合も国際協力の分野に進む学生は決して多くはないですが、社会に出て様々な人たちと接しながら自分を成長させていくための基盤になると期待しています。